

令和7年度宮農者向け鳥獣被害アンケート 結果報告

令和7年12月実施 浪江町役場農林水産課

目次

- ・アンケート概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- ・回答者の意向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- ・被害の全体像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- ・獣種・地区別被害件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
- ・月別被害件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- ・作物ごとの被害面積・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
- ・対策現状と希望(ギャップ)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
- ・日頃感じていることやお考え・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8、9

アンケート概要

○目的

町内の鳥獣被害の実態調査、被害に対する対策の検討、得られた情報の町民への共有を目的として、町内の営農者を対象にアンケートを実施した。

○方法、対象者

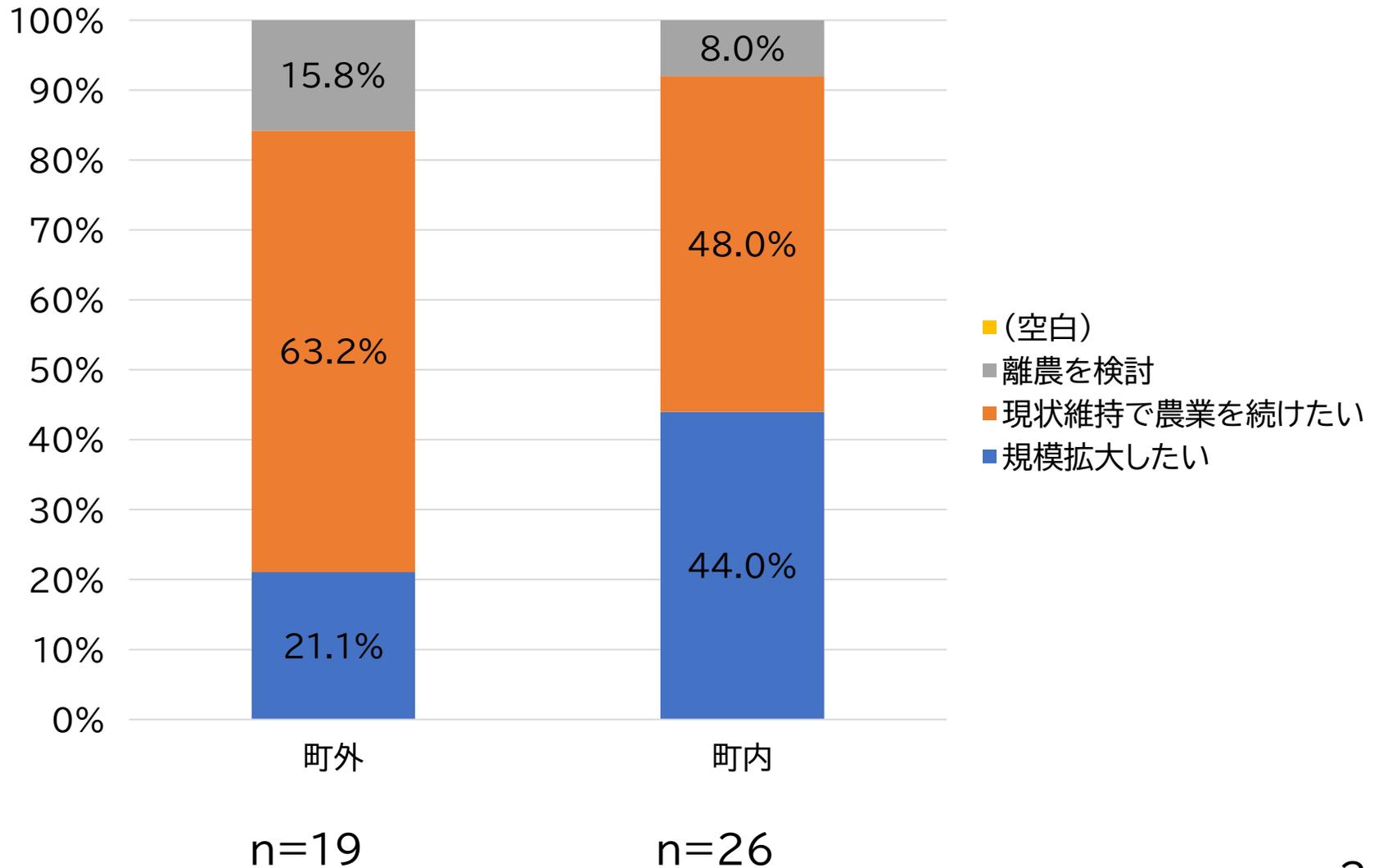
- ・町内で担い手として令和7年度4月時点で地域計画に登録されている組織または個人事業主

45/108名回答(回答率41.7%)

- ・対象者にアンケートを返信用封筒付きで送付

(回収期間:令和7年12/18~1/9)

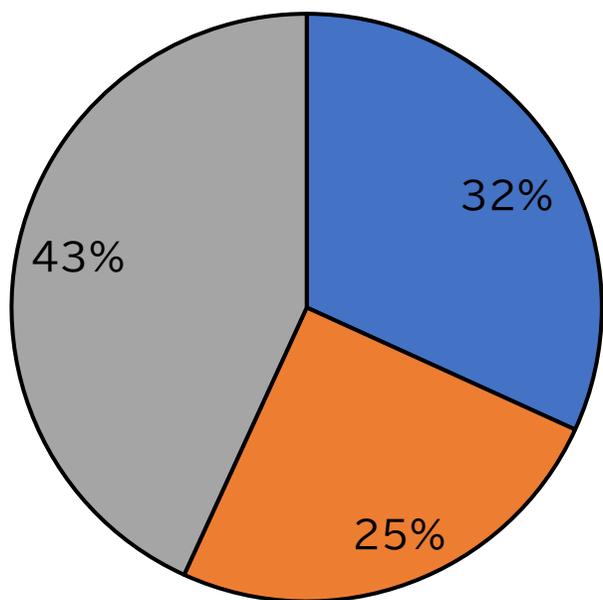
回答者の意向



被害の全体像

鳥獣被害の有無

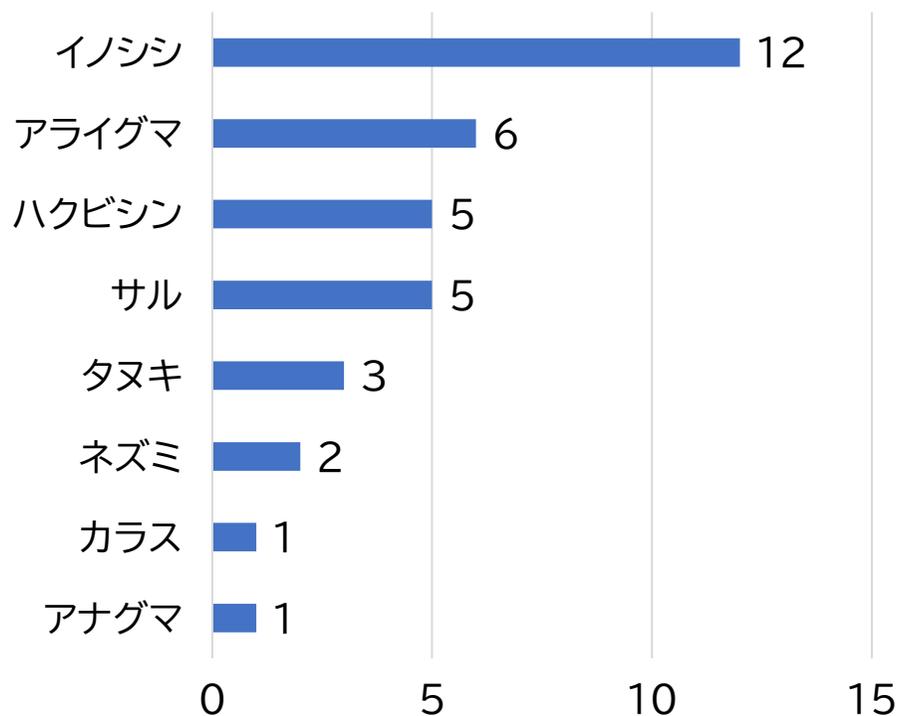
n=44



- 被害あり
- 被害あり(収量/売り上げ影響なし)
- 被害なし

被害獣種ランキング ※複数回答可

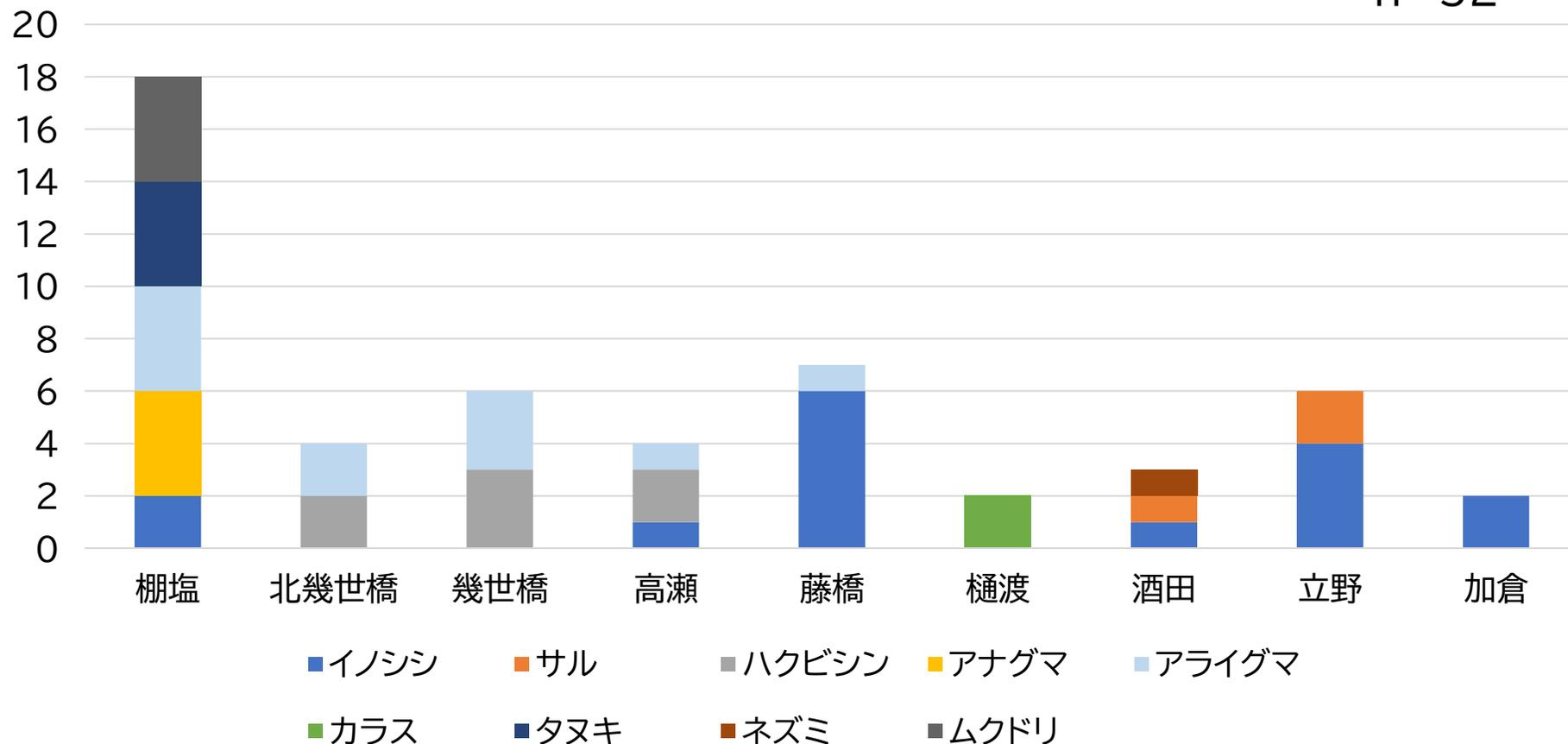
n=35



※複数回答可。同一のほ場・獣種は1カ月1件でカウント

獣種・地区別被害件数

※複数回答可
n=52

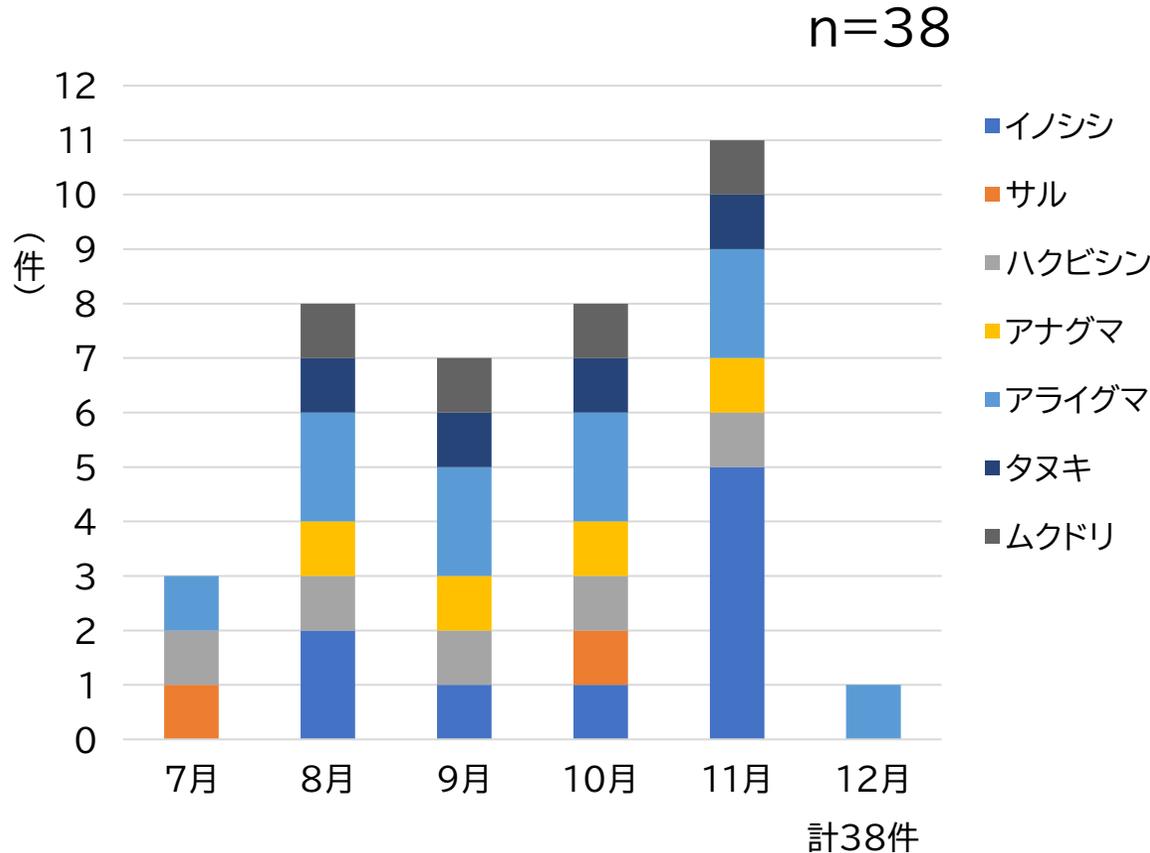


被害件数はイノシシ、次いでアライグマが多いが、多獣種で被害報告が確認されている

月別被害件数

参考:被害作物一覧

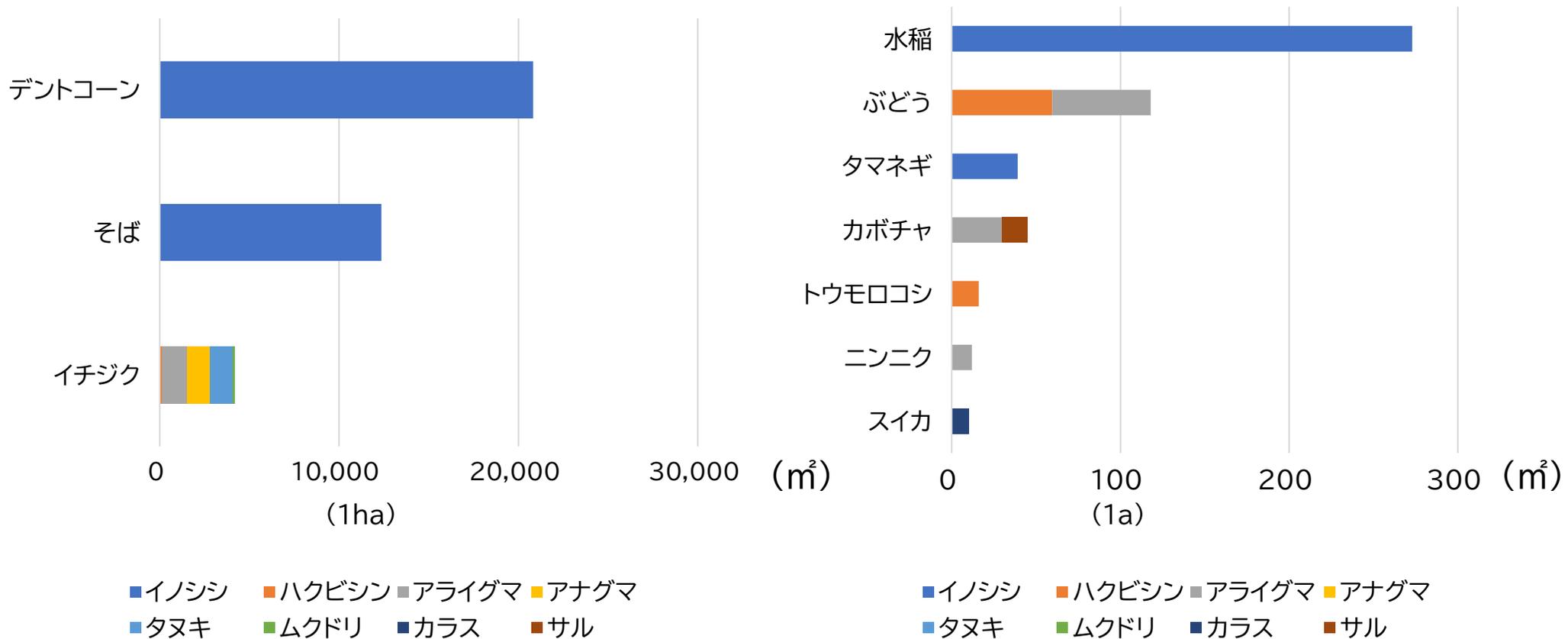
計23件



地区	作物	鳥獣種	被害月
立野	トウモロコシ	サル	7月
加倉	デントコーン	イノシシ	10月
棚塩	イチジク	アライグマ	8~11月
棚塩	イチジク	アナグマ	8~11月
棚塩	イチジク	タヌキ	8~11月
棚塩	イチジク	ムクドリ	8~11月
藤橋	果樹苗(準備中)	イノシシ	11月
藤橋	果樹苗(準備中)	イノシシ	11月
北幾世橋	トウモロコシ	ハクビシン	7~8月
北幾世橋	カボチャ	アライグマ	7~8月
藤橋	タマネギ	イノシシ	11月
藤橋	ニンニク	アライグマ	12月
立野	カボチャ	サル	10月
幾世橋	イチジク	アライグマ	9月
幾世橋	イチジク	アライグマ	10月
幾世橋	イチジク	アライグマ	11月
幾世橋	イチジク	ハクビシン	9月
幾世橋	イチジク	ハクビシン	10月
幾世橋	イチジク	ハクビシン	11月
藤橋	稲	イノシシ	8月
棚塩	水稻	イノシシ	9月
棚塩	デントコーン	イノシシ	8月

8~11月の被害が全体の9割程、夏から秋にかけての被害が増加する傾向
 夏季~収穫期にかけての被害対策強化が必要

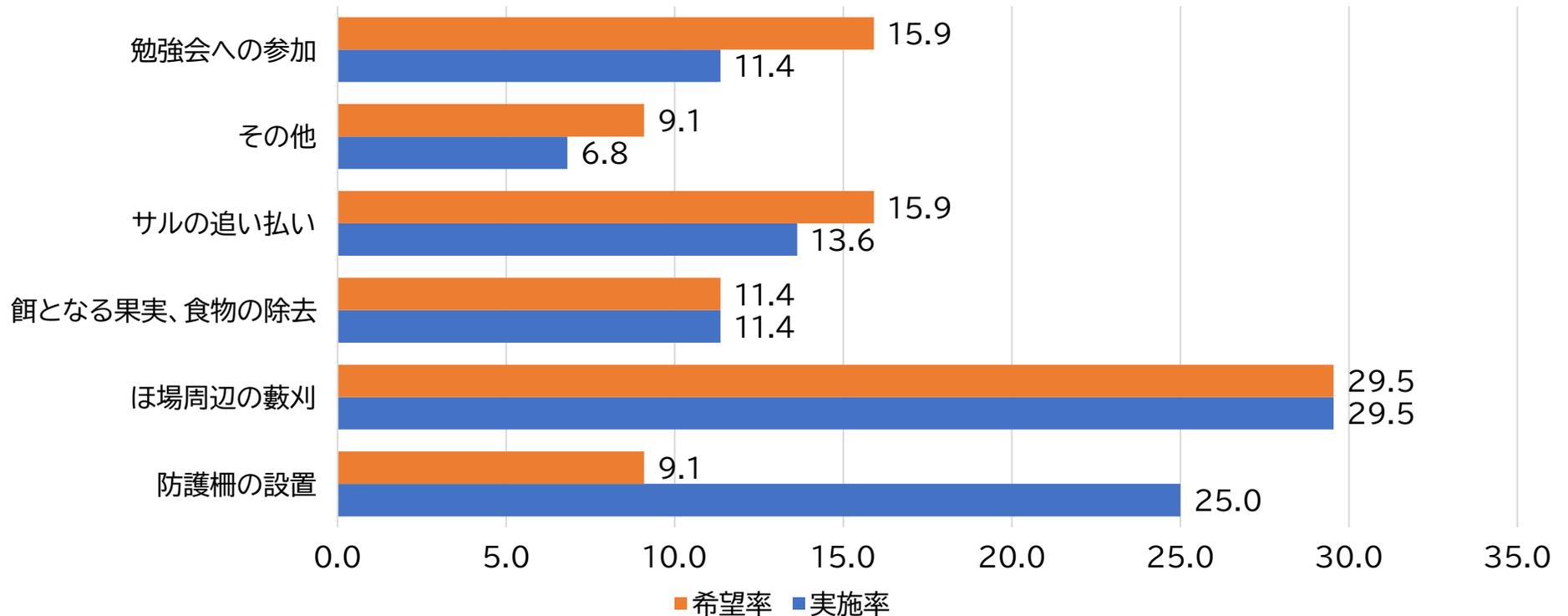
作物ごとの被害面積



全体の69%がイノシシによるデントコーンの食害。品目に寄らずイノシシ被害が高い傾向。
イノシシ対策が優先順位として高い

対策状況と希望(ギャップ)

n=44



勉強会への参加、サルの追い払いへのニーズは実施率よりも高い。
サル追い払いを含めた勉強会の実施、追い払い花火の配布を強化していく必要がある。

鳥獣被害について、日頃感じていることやお考え

- ・出入口のグレーチング設置を実施してほしい
- ・ネギの作付けなので現時点では鳥獣害は確認できていません。
- ・最近猪も見なくなったがネズミが酷いです
- ・アライグマ、タヌキ等の対策を行っているが、よじ上がって柵を超えて中に入って物を食べ放題になり、またデントコーン周囲作付けしており、餌をあたえるようなこと。箱わな等カメラ撮影をとること、個人として追いつかないので役場等で捕獲をお願いいたします。
- ・現状維持で対応する。草刈、除草剤散布で
- ・空き家敷地に(亀下20)内にイノシシ・アライグマ等の捕獲罠を設置して年間管理をお願い致します。
- ・営農再開当初はイノシシ等の出没し、多少被害もあったが年々少なくなってきた。町の地域によって事情が異なると思うが電柵も草刈り等の作業でわずらわしく、負担になっているところも多い
- ・町全体で対策を取れば解決できると思う
- ・近況のクマの出没が不安
- ・道路法面をイノシシが掘り起こすたびに農作業に支障が出るので修繕している。道路法面は町で修繕すべきではないかと思うのですが、町で修繕するようにしてください。修繕にかかる費用と時間は1カ所あたり少額ですが、その負担を農家にさせるのはおかしいと思います。またサルが増えてきた、子サルを抱いた母サルがいるようで、来年は被害が出るのではないかと不安です。
- ・アライグマ以外の捕獲報酬願う(例、ハクビシン、ニホンザル、イノシシ)計画期間2年以上望む
- ・果樹園経営で、木が若いため、2026年からの収穫となります。震災以前同様に防鳥網の活用をしています。やってみないとわからない面が多々あります。

鳥獣被害について、日頃感じていることやお考え

- ・今年度は猿・猪の被害は受けませんでした。しかし、たまたまであり、引き続き鳥獣対策は継続してください。
- ・今のところ鳥獣被害については、ない状況ですが(休憩スペースでのカラスによる被害くらい)何らかの対策、情報取得していかなければならないと考えております。(イノシシ、サル、トリ、クマ等)
- ・イノシシ対策→電牧が作業の邪魔しているので撤去できるようにしたい
- ・100%作付けし、100%出荷できるものなど存在しないので共存できればいいと思う
- ・不耕作地の雑草による鳥獣の生息、棲、害虫被害をどうするか・熊出没の対策として果樹の伐採は浪江町藤橋地区では猿被害対策として実施しており、先進地事例として報告できると思う。
- ・メッシュの設置費用まで補助対象にしていただけないでしょうか？あれは相当な重労働です。
- ・ワイヤーメッシュを通り抜けてアライグマが圃場内に侵入している形跡がある。現状被害はないが、被害が出たら防獣ネットを併用すべきではないかと考えている。また、周囲に年中藪化した管理不全の農地が多く、動物の隠れ家や通り道になっているようで良い気分はしない。
- ・特にありませんが、熊の不安は早く払拭したいですね
- ・鳥獣害対策とは違いますが、自分が耕作している圃場は山林、やぶ、管理されていない土地に面しており畦畔の草刈りに苦慮している。又、樹木が田面にかぶさりなかなか伐採も出来なず困っている。
- ・現状、ほ場に侵入され定植苗(タマネギ)が多少踏み倒される程度なので、特別問題視していない。
- ・周辺地域の生息状況(捕獲)の目視化をお願いしたい。また、浪江に住んでいない人が、柿などを新たに植えたり果実と放置が、アライグマなどの餌になっているのが、問題。